

伊勢市通行量測定・分析支援等業務委託プロポーザル企画提案書
記載依頼事項

企画提案書には、最低限、下表の項目について記載することとし、下表の項目の順に準じて記載すること。

項 目	記載依頼内容
業務の実施フロー 及びスケジュール 管理	<ul style="list-style-type: none"> ・着手から成果品の納品までの業務スケジュールについて、途中経過、進行管理、作業工程を明確に記載すること。なお、工程表には、設置箇所の選定や分析視点の設計等、発注者との協議・合意形成が必要となるタイミング（マイルストーン）を明記すること。 ・スケジュールの管理体制を記載すること。
データ分析支援・ 活用提案	<ul style="list-style-type: none"> ・収集したデータを分析・レポートングする際の具体的なアウトプットイメージ（様式案）を提示すること。 ・収集可能なデータフォーマットの仕様を提示すること。 ・仕様書の「3.（6）①分析支援」の比較・評価分析の支援の実施にあたって、市関係課が検証したい政策課題（仮説）を的確に分析条件へ反映させるため、庁内協議やヒアリングを通じて課題を引き出し、分析視点を設計するための具体的な手法やプロセスについて、提案すること。なお、採用手法については契約後に発注者と協議の上で決定するものとする。 ・属性分析（性別・年代等）については、屋外撮影環境における認識精度の限界を考慮し、「傾向把握・施策立案のための参考指標」として属性データをどのように活用・運用すべきか、また、属性データ数と通行量数の差異をどのように補填するか、その方針を記載すること。 ・本システムで得られる通行量データ等を、地域課題解決に資する新たな取り組み（仮説検証や情報発信等）に活かすことを目的とした連携のあり方や構想について、考え方を記載すること。 ・本業務で取得したデータを活用し、市と連携する教育機関等が開発を行う予定の複数地点データの統合・可視化ツールについて、運用のしやすさや持続可能性を担保するための調整・監修プロセス及び支援について、考え方を記載すること。 ・発注者側において情報を抽出する際の CSV データ様式の詳細（項目定義等）を記載すること。
仮説検証及び 将来構想	<ul style="list-style-type: none"> ・設置予定の 7 地点 10 箇所に対する市の課題意識に基づいた具体的な検証テーマ（仮説）について、考え方を記載

	<p>すること。なお、市の課題意識については伊勢市総合計画や中心市街地活性化計画を確認すること。加えて、本事業の効果をさらに高めるために有効と考えられる将来的な追加設置候補地点およびその検証テーマについても、併せて示すこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業の将来的な展開を見据え、特定の場所に固定せず、イベント時や季節需要などに応じて設置場所を柔軟に変更できる「移動式カメラ（可搬式設備）」の追加導入可能性や運用イメージについて、考え方を記載すること。 ・本事業の成果を一過性のものとせず、将来にわたって維持・発展させるための「持続可能な事業モデル（サステナビリティ）」についての考え方を示し、それに対する支援内容（関わり方）について、考え方を記載すること。 ・本事業を地域全体へ波及させるため、市単独での実施にとどまらず、地域の民間事業者と連携したデータ取得や活用を行う官民連携について、考え方を記載すること。なお、記載にあたっては、連携が想定されるパートナーの属性・事業領域（例：屋内型観光集客施設、地域間移動を担う主要鉄道事業者）を具体的に挙げ、そのパートナーと行政が役割やリソース（設置場所、費用、データ等）をどのように分担し、相乗効果を生み出すかについて示すこと。また、本項目で記載した連携パートナーの属性や連携内容は、仕様書における履行義務（民間事業者との連携・活用モデルの検討及び実証支援）を遂行するための基本方針として扱われるため、実現性の高い内容を記載すること。
<p>システム構築・ 使用機器</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・画像データの取得から分析に至るまでのシステム構成、使用機器類、サーバー仕様、データ通信方法等を記載すること。 ・システムの Web 管理画面のイメージを示すこと。 ・使用機器類は、性能および物理的な設置要件（電源、サイズ等）を明確に記載すること。 ・歩行者（性別・年代等の属性推定含む）および自転車（二輪車）の識別・カウント方法について、その検知ロジックや識別可能な属性項目を記載すること。また、設置環境による精度の変動を踏まえ、本事業の目的（傾向把握）に照らして、属性データ取得の「質（精度）」と「量（検知範囲）」のバランスをどのように設計・設定するか、その方針を具体的に記載すること。 ・構築するシステムやデータの著作権・所有権の帰属について明確に記載すること。

	<ul style="list-style-type: none"> ・導入する機器の計測精度について、正確性の指標や実測値とAIカメラの計測結果の比較データ、実際に使用した際の期待精度などを表や図を用いて視覚的に確認できる記載とすること。
保守・セキュリティ・コスト	<ul style="list-style-type: none"> ・運用期間中のシステム保守体制（障害検知から復旧までのフロー）について記載すること。 ・システム保守、データ分析完了後のデータ破棄等のセキュリティ対策、個人情報保護対策について記載すること。 ・仕様書「3. 業務内容（7）セキュリティ対策」に示す、セキュリティに関する具体的な対応内容について記載すること。 ・機器の故障や対人・対物事故に対する保険加入等のリスク管理体制について記載すること。
実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・本業務を遂行するための組織体制（統括責任者、現場調整・監修担当、技術担当等）および役割分担を明確に記載すること。 ・各担当者については、その役割を遂行するに適した経験やスキル（または過去の活動実績）を有していることを記載すること。 ・行政内部（関係各課）との連携、および関係機関（警察、道路管理者等）との許認可調整を円滑に進めるためのフローについて、考え方を記載すること。また、設置場所の確定等において行政側の判断を支援するための資料作成や論点整理等のサポート体制についても具体的に示すこと。 ・地域特性や政策背景に精通した担当者の配置など、円滑なコミュニケーションを担保する体制について、考え方を記載すること。
業務実績	<ul style="list-style-type: none"> ・本業務で使用する定点AIカメラ等の通行量調査システムまたは同種のシステムにおける、過去に実施した導入・運用実績について記載すること。